

## 大阪マラソン組織委員会（第32回）

- ・と き 令和2年12月25日（金）  
午後1時30分から午後2時15分まで
- ・ところ シティプラザ大阪 2階 「燦」

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 議 事

- （議題1）令和2年度収支補正予算案について
- （議題2）びわ湖毎日マラソンとの統合について（案）
- （報告1）新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の取組状況について

#### 3 閉 会

#### <配布資料>

- ・配席図
- ・出席委員名簿
- ・資料1：令和2年度収支補正予算案
- ・資料2：びわ湖毎日マラソンとの統合について（案）
- ・資料3：新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の取組状況について

## 出席委員名簿 大阪マラソン組織委員会(第32回)

| 役職     | 氏名     | 所属                                   |
|--------|--------|--------------------------------------|
| 会長     | 松本 正義  | 一般財団法人大阪陸上競技協会会長、<br>公益社団法人関西経済連合会会長 |
| 副会長    | 山本 剛史  | 大阪市副市長                               |
| 副会長    | 竹内 章   | 一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事                   |
| 委員(代理) | 西畠 一泰  | 読売新聞大阪本社取締役事業本部長                     |
| 委員     | 宮川 晴美  | 大阪市地域振興会会長                           |
| 委員(代理) | 森浦 進   | 大阪市商店会総連盟事務局長                        |
| 委員     | 深野 弘行  | 一般社団法人関西経済同友会代表幹事                    |
| 委員(代理) | 島原 賢司  | 公益財団法人大阪府スポーツ協会常務理事兼事務局長             |
| 委員     | 斉喜 博美  | 大阪府スポーツ推進委員協議会会長                     |
| 委員(代理) | 西谷 真諭樹 | 大阪市スポーツ協会事務局長                        |
| 委員     | 山村 亮   | 大阪市スポーツ推進委員協議会会長                     |
| 委員     | 橋爪 静夫  | 大阪府障がい者スポーツ協会会長                      |
| 委員(代理) | 中島 進   | 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会障がい者スポーツ振興部長    |
| 委員(代理) | 末永 裕子  | 国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第一課長            |
| 委員(代理) | 藤木 純一郎 | 国土交通省近畿運輸局観光部観光戦略推進官                 |
| 委員(代理) | 松浦 健之  | 阪神高速道路株式会社経営企画部課長代理                  |
| 委員     | 岡本 圭司  | 大阪府府民文化部長                            |
| 委員     | 柏木 陸照  | 大阪市経済戦略局長                            |
| 委員     | 讃岐 富男  | 一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事                  |
| 委員     | 荒木 誠   | 株式会社オプテージ代表取締役社長                     |

欠席者

顧問：吉村大阪府知事、松井大阪市長、土井大阪府議会議長、ホンダ市会議長

副会長：山口大阪府副知事

委員：大阪府商店街振興組合連合会理事長 辰野委員

大阪商工会議所会頭 尾崎委員

公益財団法人大阪観光局会長 福島委員

大阪府体育連合会長 澤井委員

大阪市体育厚生協会会長 長谷部委員

一般社団法人大阪府医師会会長 茂松委員

大阪府教育委員会教育長 酒井委員

監事：大阪商工会議所 近藤常務理事・事務局長

一般財団法人大阪陸上競技協会 西内事務局長

※ご欠席の委員の方々からは、会長あての委任状をいただいております。

(議題 1 : 令和 2 年度収支補正予算 (案) について)

令和 2 年度大阪マラソン組織委員会の収支補正予算は、別紙に定めるところによる。

## 令和2年度 収支補正予算(案)

令和2年4月1日から  
令和3年3月31日まで

大阪マラソン組織委員会

(単位:円)

| 科 目                     | 令和2年度<br>現計予算額     | 令和2年度<br>補正予算額      | 令和2年度<br>補正後予算額    | 補正予算の内訳                  |
|-------------------------|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------------|
| <b>1. 事業活動収入の部</b>      |                    |                     |                    |                          |
| 行政負担金                   | 180,000,000        | ▲ 30,000,000        | 150,000,000        |                          |
| 協賛金収入(VIK含む)            | 0                  | 0                   | 0                  |                          |
| 参加料収入等                  | 0                  | 0                   | 0                  |                          |
| 事業収入<br>(EXPOブース等販売収入)  | 0                  | 0                   | 0                  |                          |
| 関連イベント参加料収入等            | 0                  | 60,400,000          | 60,400,000         | 関連イベント協賛金の増、参加料収入の増      |
| 預金利息等                   | 0                  | 0                   | 0                  |                          |
| 前年度繰越金                  | 1,686,652          | 0                   | 1,686,652          |                          |
| <b>事業活動収入合計</b>         | <b>181,686,652</b> | <b>30,400,000</b>   | <b>212,086,652</b> |                          |
| <b>2. 事業活動支出の部</b>      |                    |                     |                    |                          |
| <b>【第10回大阪マラソン開催経費】</b> |                    |                     |                    |                          |
| 開催事業費                   | 110,000,000        | 47,900,000          | 157,900,000        |                          |
| (広報・イベント費)              | 57,000,000         | 57,900,000          | 114,900,000        | 関連イベント開催による増額、執行見込額による減額 |
| (安全対策費)                 | 3,000,000          | 0                   | 3,000,000          |                          |
| (大会運営費)                 | 28,000,000         | ▲ 10,000,000        | 18,000,000         | 執行見込額による減額               |
| (エントリー・記録関係費)           | 22,000,000         | 0                   | 22,000,000         |                          |
| 事務局費                    | 4,400,000          | ▲ 1,000,000         | 3,400,000          |                          |
| <b>小 計</b>              | <b>114,400,000</b> | <b>46,900,000</b>   | <b>161,300,000</b> |                          |
| <b>【大阪マラソン開催準備経費】</b>   |                    |                     |                    |                          |
| 開催準備事業費                 | 44,000,000         | ▲ 12,000,000        | 32,000,000         | 執行見込額による減額               |
| 事務局費                    | 21,586,652         | ▲ 4,500,000         | 17,086,652         |                          |
| <b>小 計</b>              | <b>65,586,652</b>  | <b>▲ 16,500,000</b> | <b>49,086,652</b>  |                          |
| 租税公課                    | 1,700,000          | 0                   | 1,700,000          |                          |
| <b>事業活動支出合計</b>         | <b>181,686,652</b> | <b>30,400,000</b>   | <b>212,086,652</b> |                          |
| <b>収支差額</b>             | <b>0</b>           | <b>0</b>            | <b>0</b>           |                          |

## 大阪マラソン ランニングイベントについて

大阪マラソンを楽しみにしているランナーや将来のマラソンランナーになる子どもたちにランニングを楽しんでいただくため、各種ランニングイベントを開催。

### 【オプテージ Presents 大阪マラソン 10K&Fun RUN】

- |        |  |
|--------|--|
| 1 概要   | 毎年6月に開催していた「日本陸連公認コースの10 kmラン」と「家族等が楽しく走るファンラン」を開催 |
| 2 実施日時 | 令和3年2月13日（土）8：00～13：20（予定）                         |
| 3 場所   | 長居陸上競技場及び長居公園周回コース（長距離走路）                          |
| 4 内容   | 10K（日本陸連公認コース、表彰なし・計測あり）<br>ファンラン（約3.2 km、表彰・計測なし） |
| 5 参加費  | 10K：5,500円<br>ファンラン：大人2,500円、子ども1,000円             |
| 6 定員   | 10K：1,500人、ファンラン：500人                              |

### 【（実施済）大阪マラソン 2020 VIRTUAL

supported by Osaka Metro】

- |        |  |
|--------|--|
| 1 概要   | スマホのアプリを利用して、都合の良い時間・好きな場所で走れるオンラインマラソンを開催。走った距離に応じた実況や解説が流れ、実際の大阪マラソンのコースを走っているかのような体験ができる。 |
| 2 実施期間 | 令和2年12月5日（土）～令和2年12月20日（日）   |
| 3 場所   | 指定なし   |
| 4 内容   | オンラインマラソン  |
| 5 参加費  | 無料   |
| 6 定員   | 制限なし   |



## 【（中止） オプテージ Presents 大阪マラソンファンラン in OSAKA 元気スポーツ】

- 1 概要 万博記念公園で催されるさまざまなスポーツイベントにおいて、小中学生と大人（保護者）がペアとなって一緒に走り、「走る楽しさ」を感じていただく無料のファミリー向けイベントを開催
- 2 実施日時 令和2年12月5日（土）11:00～12:30
- 3 場所 万博記念競技場～万博記念公園お祭り広場手前折り返しコース
- 4 内容 ファンラン（約2.3km、表彰・計測なし）
- 5 参加費 無料
- 6 申込者数 298組596人



※「オプテージ Presents 大阪マラソンファンラン in OSAKA 元気スポーツ」は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、令和2年12月3日に中止を決定しました。

## (議題 2 : びわ湖毎日マラソンとの統合について (案) )

びわ湖毎日マラソンと統合することを前提に具体的協議を進める。併せて、開催時期を次回大会より 2 月最終日曜日に変更する。

## (理由)

- 大阪マラソンは、初心者でも参加しやすいよう制限時間を 7 時間に設定し、3 万人を超えるランナーが参加する大規模市民マラソンであり、マラソン大会の枠を超えた、大阪を挙げての新しい「お祭り」でもある。
- また、第 1 回大会からシカゴマラソンと提携を行うなど大会のグローバル化を図ってきた。世界の主要なマラソン大会は、競技性を兼ね備えた市民マラソンが主流であり、今後、大阪マラソンが持続的に発展するには、競技性の向上を図っていくことが必要である。
- このため、世界陸連のゴールドラベルに格付けされ、オリンピック等国際大会において日本代表選考レースに位置づけられているびわ湖毎日マラソンとの統合により、世界から注目される大会となり、これまで以上に大阪マラソンのポテンシャルが向上し、国内外に大阪の都市魅力を発信する。
- 市民ランナーにとって、国内外のトップアスリートと一緒に走れることは大きな魅力であり、大阪マラソンへの参加意欲の向上につながる。また、沿道観衆は、トップアスリートが記録と勝利をかけて繰り広げるレースを間近に見て応援できることで、新たな大阪マラソンを楽しむことが可能となる。
- また、開催時期については、2 月の最終日曜日に変更することにより、一般的に参加ランナーが走りやすい時期となるほか、国内外からトップレベルの選手の出場が可能となる。さらに、「競技」としての魅力や大阪を代表する「お祭り」としての魅力を発信していくことで、来阪宿泊者数が比較的少ない時期に新たなスポーツツーリズムが生じ、観光、宿泊、飲食等での経済効果も期待でき、さらなる大阪の観光集客に寄与する。
- なお、市民マラソンとしての機能（制限時間、参加者定員、盛上げ等）については、これまでどおりとする。

## (参考)

## ◎びわ湖毎日マラソン（概要）

- ・1946 年に大阪府で開催され、現存する大会の中では日本最古のマラソン大会。1962 年に開催地が大阪府から滋賀県に変更。
- ・ワールドアスレティクス(世界陸連)ゴールドラベルの男子マラソン大会、国際大会の代表選手選考会も兼ねる。毎年 3 月に開催、参加人数は約 2 5 0 人（エリートランナーのみ）。
- ・主催は日本陸連、毎日新聞、滋賀県、大津市。共催は N H K。

(報告 1 : 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の取組状況について)

## 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の 取組状況について

大阪マラソンでは、本年 11 月に開催予定であった今年度大会が新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止になったことを踏まえ、次回大会においては、日本陸上競技連盟が発表した「ロードレース再開に向けたガイダンス」（以下「陸連ガイダンス」という。）等をもとに、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症への対策を進めている。

### 1 感染症予防対策の強化のためのセクションの整備

- ・陸連ガイダンスにおいては、各大会に対して、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症予防の対策セクションを設けるように求めている。
- ・大阪マラソンでは、組織委員会内に『医事・救護専門部会』を設置しており、これを『医事・救護・感染症対策専門部会』と改組し、関係機関と連携しながら、感染症予防のための各種対策の検討・実施の取組を進めていくこととしている。
- ・同部会では、大阪マラソンにおける医事救護関連の全体計画や救護体制の検討等の取組を行っており、感染症対策の取組を合せて行うことにより、大会の準備・開催期間を通じた予防対策の徹底や、感染症を配慮した救護活動の展開など、大会運営の状況に応じた、適切な感染症対策を進めていくことができるものと考えている。

### 2 感染症予防対策の強化

- ・陸連ガイダンスでは、各大会に対して、感染症予防対策マニュアルの作成など、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防対策の強化を求めている。
- ・そのため、新たに整備した、医事・救護・感染症対策専門部会において、陸連ガイダンスをはじめ国や各種機関が作成しているガイドライン等をもとに、感染症の予防、さらには感染疑い者が発生した等の場合の対応など、感染症対策の強化に取り組んでいく。